

## 2011年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第1回公式合同テスト 初日

### 小暮 卓史 (NAKAJIMA RACING) がトップタイム

昨年11月末に行なわれた公式合同テストから約3ヶ月半。新たなシーズンの開幕に向け、三重県・鈴鹿サーキットで今年最初のフォーミュラ・ニッポン公式合同テストが行なわれた。このテストには、今季のシリーズに参加する全16台が顔を揃え、春まだ浅いサーキットには、久々に国内トップフォーミュラのエンジン音が、響き渡った。

初日となる3月11日(金)は、午前中のセッション開始時こそ完全なドライコンディションだったが、その後は時折雨が降る不安定な天候。路面コンディションも滑りやすく、セッションが赤旗で中断される場面も。そんな中、圧倒的なトップタイムをマークしたのは、No.32 小暮 卓史 (NAKAJIMA RACING)。2番手には No.40 伊沢 拓也 (DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、3番手には No.2 平手 晃平 (TEAM IMPUL) と続いている。

初日のセッションが開始されたのは、午前10時から。日本列島は、今週に入ってから真冬の天候に逆戻りしているが、この日もセッション開始時には気温7℃、路面温度8℃と、底冷えのするコンディションとなっている。コースがオープンされると、まず数台のマシンがコースイン。まずは各ドライバーともに路面コンディションやマシンの状態を確認していたが、開始から15分過ぎというところで、まずは No.8 石浦宏明 (Team KYGNUS SUNOCO) が1分40秒693、その5分後には小暮が昨年最終戦Q3のトップタイムをコンマ3秒ほど上回る1分40秒082というタイムをマーク。これを見て、昨シーズンのチャンピオンである No.19 J.P. デ・オリベイラ (TEAM IMPUL)、No.36 アンドレ・ロッター (PETRONAS TEAM TOM'S) からも動き始める。

オリベイラは、ニュータイヤでコースに入るとまず1分40秒225、さらに1分40秒122とタイムを伸ばし、小暮に迫った。またロッターもこれに迫る1分40秒126をマーク。実力者がズラリと上位に並ぶ。その後、セッション開始から約1時間という時点では、伊沢がタイムアップ。1分40秒111というタイムをマークし、このセッション2番手に浮上した。この頃から、鈴鹿の上空には雲が広がり、雨がパラつき始める。特に、西コースではこの雨が強くなり、スプーンコーナーなどでは多くのドライバーがオーバーランしたり、ハーフスピンしたりという状況になった。また130Rでは、この日がフォーミュラ・ニッポン初ドライブの No.3 ミロシュ・パブロヴィッチ (KONDO RACING) もスピン、ストップ。この影響赤旗が提示された。マシンの回収が終わると、セッションは再開されたが、路面はスリックでもウェットでも走れないような状況が続き、その後は全車ピットで待機。そのままセッションが終了している。

Formula NIPPON NEWS 2011.03.11

全日本選手権 フォーミュラ・ニッポン

第1回公式合同テスト[鈴鹿サーキット]

2時間のインターバルを経て、午後2時から始まった2回目のセッション。午前中に降った雨は、一旦上がり、このセッションが始まった時点では、太陽が顔を見せていた。コースがオープンされると、No.10 小林 崇志(REAL RACING)が真っ先にコースに出て周回を重ねる。その後、開始から約15分というところでNo.62 嵯峨 宏紀(Le Beausset Motorsport)、No.31 中嶋 大祐(NAKAJIMA RACING)No.33 国本 雄資(Project  $\mu$  /cerumo・INGING)がコースに入るが、ちょうどこの頃から再び雨が降り始めた。その雨の影響で、国本がヘアピン立ち上がりでスピン。それとほぼ同時に、中嶋が同じくヘアピンイン側のクラッシュパッドに衝突、さらに嵯峨もヘアピンの入り口でコースアウトする。このため、セッションは赤旗によって中断。マシンの回収が終わると、午後2時34分には再開されるが、そのわずか15分後には東北・関東地方を襲った大地震の余波を受け、鈴鹿でも震度3の揺れに見舞われる。そのため、再びセッションは赤旗中断。コースの安全確認後、午後3時04分に再開された。

さらに、午後3時半頃には、国本がデグナーでコースアウト。このセッション3回目の赤旗に。その後、再開されると、残り時間が15分を切ったあたりから、各ドライバーがニュータイヤを投入し、タイムアタックに入った。だが、石浦は、プッシュし過ぎたのか、ダンロップコーナー先でコースアウト。ロッテラーもスプーンで飛び出してしまう。一方、アタックをまずまずまとめて、まずトップに立ったのは、No.37 中嶋 一貴(PETRONAS TEAM TOM'S)。これを平手が上回る。だが、ここで他を圧倒するコースレコード、1分38秒668を叩き出してトップに立ったのは、小暮。その後、伊沢、オリベイラも自己ベストは更新したが、小暮のタイムには及ばなかった。結果、2番手には伊沢、3番手には平手、4番手にオリベイラ。さらに、一貴、No.41 塚越 広大(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)と続いている。

## ◆トップ3ドライバーのコメント

### 総合1位:小暮 卓史 (NAKAJIMA RACING)

オフシーズンに田坂さん(田坂泰啓エンジニア)がクルマをすごく色々考えてくれて。去年の最終戦ですごく見えたセットがあったんですけど、それがかなりいい方向に行っていると思いますね。今日は、雨が降ったりみぞれが降ったりしていて、滑りやすい時間帯もありましたが、最後は乾いていて、グリップもありました。今年はタイヤのスペックが変わって、グリップが無くなる方向だと思っていたんですけど、クルマのポテンシャルも高かったですし、コースレコードも出すことができました。S字とかも速いんですけど、タイヤが硬くなっているので、ステアリングは余り重くないんですよ。だから、前のように身体に負担がありながら出すっていうより、イージーにタイムが出ちゃったっていう感じでした。今日のテストでは、空力は全く触らず、足回りを中心に基本的なセットアップを試しましたね。手応えは結構あります。タイム以上に、乗ったフィーリングがすごく良かったので。明日は、今日できなかった足回りのセットアップの続編ですね。田坂さんが作ってくれた新しいダンパーとか、バネとか、色々試したいと思っています。明日はヘタしたら、38秒切ってもおかしくないような雰囲気。今日、乗る前は、久しぶりなので上手く乗れるかなと思って緊張していたんですけど、やっぱり乗ったらフォーミュラは楽しいですね。

### 総合2位:伊沢 拓也 (DOCOMO TEAM DANDELION RACING)

思ったより気持ち良く走れました。もう少し目が慣れないかなと思っていたんですけど、クルマも非常に調子が良かったですし、最初から安心して乗ることができましたし、シーズン初めのテストとしては順調なスタートが切れました。このオフに、チームの方でもクルマをレベルアップしてくれていて、本当に乗りやすかった。今日は、いくつかテストのメニューがあったので、それをこなしたのと、富士で良かった部分の確認です。大きく何かをやったということもないですし、それぐらい持ち込みから仕上がっていたので、ドライビングに専念することができました。最後にニュータイヤを履いた時は、僕の目の前でオリベイラ選手もスピンしたりしていましたが、僕のクルマは全く飛び出したりするような気配もなく、安心してアタックできました。ただ、全体にタイムが速いので、みんな結構プッシュして飛び出したりしていたんじゃないですか？ 小暮さんには、最後思ったより離されましたね。僕も細かなミスした部分はあるんですけど、今日の段階ではあのタイムはちょっと見えないですし、ちょっと差があると思います。でも、僕もいくつか試したいことがありますし、シーズンを見据えたメニューを焦らずにやっていきたい。明日は先輩に負けたくない、トップタイムで終わりたいですね。

### 総合3位:平手 晃平 (TEAM IMPUL)

今日は、天候が一時崩れたりして、持ってきたメニューをこなし切れていないんですけど、メインでやったのはオフシーズンにしかできないこと。シーズン中は余り大きなことを試せないのだから…。車高に対するクルマの良し悪しを見たり、ジオメトリーをやったり、メカニカルグリップを増やせる方向で、大きく色々振って試してみました。でも、今日はフロント中心のことはできなかったのだから、明日はリヤもやりたいと思っています。今まで、予選一発という意味では、鈴鹿って得意なコースというイメージがなかったんですけど、今日はまだクルマのバランスがまだ100%でないにも関わらず、ニュータイヤでのアタックの時に、すごく気持ちよく走れました。こんな気持ちになったのは久しぶり。だから、すごくい

い感じでスタートできたと思いますし、明日も色々なテストができればなと思います。小暮さんは速いですね～。オフシーズンは、小暮さん、いつもブッチぎって速いですし、特にこの鈴鹿では変態なぐらい速いじゃないですか(笑)。だから、ちょっと小暮さんのタイムは、今の段階では見えません。ただ、気にはなりますけど、それに惑わされず、今のうちに多くのことを試して、データをたくさん取りたいと思います。

Formula NIPPON NEWS 2011.03.11

全日本選手権 フォーミュラ・ニッポン

第1回公式合同テスト[鈴鹿サーキット]

## 第1回公式合同テスト 初日 総合結果

鈴鹿サーキット国際レーシングコース 5.807km

■天候:曇り/晴れ コース:ドライ/ウェット

■開始/終了時間 : 午前 10:00 ~ 12:00 午後 14:00 ~ 16:00

Po	No.	Driver	Team	BestTime
1	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	1'38.668
2	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1'39.191
3	2	平手 晃平	TEAM IMPUL	1'39.463
4	1	ジョアオ・ハオロ・デ・オリベイラ	TEAM IMPUL	1'39.564
5	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	1'39.565
6	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1'39.848
7	16	山本 尚貴	TEAM 無限	1'39.858
8	7	大嶋 和也	Team LeMans	1'39.943
9	36	アンドレ・ロッター	PETRONAS TEAM TOM'S	1'40.126
10	8	石浦 宏明	Team KYGNUS SUNOCO	1'40.304
11	18	アレキサンドレ・インペラトリー	SGC by KCMG	1'40.711
12	10	小林 崇志	REAL RACING	1'40.906
13	33	国本 雄資	Project $\mu$ /cerumo・INGING	1'41.358
14	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	1'42.094
15	62	嵯峨 宏紀	Le Beausset Motorsports	1'42.509
16	3	ミロシュ・ハプロウイチ	KONDO RACING	1'44.403

【この件に関するお問い合わせ】

株式会社日本レースプロモーション

広報担当 石原

media@f-nippon.co.jp